



 **CROSS PLUS**

第64期第2四半期(中間)
報告書

2016年2月1日~2016年7月31日





利益重視の仕組みの強化を進め、収益改善。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、クロスプラスグループをご支援いただきまして、誠にありがとうございます。ここに第64期第2四半期（2016年2月1日～2016年7月31日）の報告書をお届けいたします。

当社グループは、前期に(株)ヴェント・インターナショナルを解散し、主力の製造卸売への本業回帰を進め、事業の再構築を行いました。当期は最も重要な課題として利益重視の仕組みを強化しています。それと同時に、中期経営計画を進めて、次の成長への土台づくりの1年と位置付けています。

アパレル業界は、消費者の所得改善の動きは見られるものの、節約志向は依然として根強いことから、不透明な状況が続いております。その中で、当期の売上は計画に対して減収となりましたが、利益面は計画を上回ることができました。

下期に向けても利益重視の仕組みを着実に進め、中期経営計画の目標である「安定した収益基盤の確立」の実現に努めてまいります。

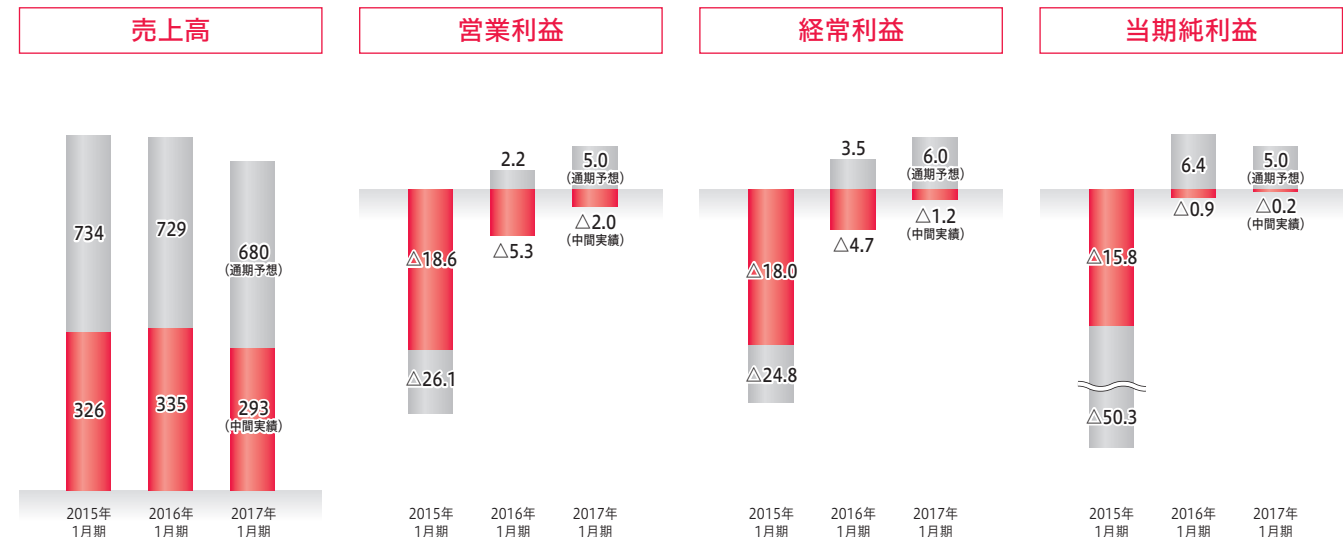
私たちクロスプラスグループは、ファッションアパレルとして、多くの方々に愛されるファッションを新しいライフスタイル提案とともに提供し、愛と喜びが溢れる豊かな社会創造を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

やまもと ひろのり
代表取締役社長 **山本 大寛**

決算概況

連結



第2四半期の業績について

2017年第2四半期連結累計期間の業績は、売上高293億48百万円（前年比12.6%減）、営業損失2億2百万円（前年プラス3億32百万円）、経常損失1億26百万円（前年プラス3億44百万円）、投資有価証券売却益1億28百万円等により四半期純損失22百万円（前年プラス75百万円）となり、前年から利益の改善が進んでいます。

売上高は前期に事業の再構築を行ったことによる小売部門での減少や、採算性の低い商品の販売をとりやめたこと、専門店向けへの販売が落ち込んだことにより減少しました。利益面では仕入販売管理の強化を進め、一品一品で

利益を積み上げていくことにより収益改善に努めました。経費については東京店のフロア縮小、自社物流センターへの集約等による物流費の削減を進めました。

以上のことにより、売上は減収となりましたが、営業利益、経常利益、当期純利益は前年及び計画を上回ることが出来ました。

また、最も重要視している在庫回転ですが、当期は33.3回転※、前年比プラス3.2回転となり、目標としている30回転を上回ることが出来ました。

※製造卸売(国内)の指数

通期見通しについて

通期の計画は、売上高680億円、営業利益5億円、経常利益6億円、当期純利益5億円を計画しています。

売上高は年初の計画では700億円でしたが、上期に計画を21億円下回ったことで修正しています。営業利益、経常利益は年初の計画から変更していませんが、当期純利益は年初の計画に1億円をプラスしています。

下期に向けては、まず売上対策として単品商品の提案強化を進めます。また、利益重視の仕組み強化として引き続き「ロスをなくす、作り過ぎない、早

く売り切る」といった基本を徹底することで、在庫回転30回転を維持し、利益向上に取り組んでいきます。あわせて、海外物流の効率化を進めており、物流費の削減や原価の低減に取り組み計画達成を目指します。

中期経営計画では、目標である「安定した収益基盤の確立」を実現するため、「新規販路の拡大」「生産基盤の再構築」「経営管理基盤の強化」の3つの課題に取り組んでいます。

Contents

株主の皆様へ	1	グループ会社別実績	6
決算概況	2	株主優待制度のご紹介	7
トピックス	3	会社概要・株式の状況	9
連結財務諸表	5	株主メモ/HPのご紹介	10

新規販路の拡大

「マーケット開発部」

3年後に売上高100億円を目指します。

本年2月に新設したマーケット開発部は、専門店・百貨店の新規販路拡大を目的とし、各部署の企画提案を新規販路へ結びつけることが役割です。

新規販路向け合同展示会を2月、7月に開催し、専門店を中心とした新規得意先との取引・商談を始めています。



マーケット開発部 課長代理
開 菜穂子

新規開拓では、アポイントを取ることに苦労しましたが、既存の取引先に割って入ることは、さらに困難でした。得意先の悩みや課題をクロスプラスグループの強みである、婦人服業界トップクラスの販売枚数からなる、単品競争力やトップス、ボトム、雑貨を含めたトータルウェアリングの企画提案力で解決することによって、少しずつ新しい取引先を増やすことができました。

今後の課題は、まず開拓した取引を着実にものにすることと、絶えず新しい得意先を開拓することです。まず、上期に開拓した新しい取引先へは一つのアイテムで一つのブランドとの取引がスタートしました。それらをこれからの成長にむけて複数アイテムへ広げ、最終的には複数のブランドとの取引に発展させ、得意先との取り組みに発展させたいと思います。グループの活性化、総合アパレルとしての飛躍に向けての一步目を作れるように、今後の成長へ向けてマーケット開発部一丸となって頑張っています。



マーケット開発部 課長代理
西野 和浩



マーケット開発部
菊池 武行



自社物流センターを活用し、効率化を推進

「物流部」

当社は、これまで東京と名古屋の営業拠点ごとに企画生産・販売・納品を行っており、それぞれの拠点ごとに出荷していました。自社物流センターへ一元化することによって、物流費の削減を進めています。

1 物流センター内の作業効率化

海外でお取引先様ごとの値札付けや店ごとの梱包をすることによって、国内作業を減らしています。また在庫回転を高めることで滞留在庫を減らしスペースの有効活用を進め、自社物流センター内での作業効率を高めています。

2 外部委託出荷の内製化

物流センターの効率化を進めることで、自社物流センターの取扱量が増えています。自社物流センターに集約し、物流の効率化を進めることで、物流費の削減を進めています。

3 口座一本化

営業拠点が分かれていた為、お取引先への納品口座も東京と名古屋に分かれていました。出荷拠点とともに、口座を一本化し出荷個数の削減を進めています。

営業部門と管理部門が一体化となって業務改善を進め、より多くの商品を“正確に早く”お客様のもとへお届けできるよう日々努力しています。



物流部 課長代理
長田 真弥

連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

単位:百万円

科目	前期 (2016年1月31日)	当期 (2016年7月31日)
(資産の部)		
流動資産	24,462	19,529
固定資産	8,977	8,494
資産合計	33,439	28,024
(負債の部)		
流動負債	20,097	17,098
固定負債	3,353	2,969
負債合計	23,450	20,068
(純資産の部)		
株主資本	8,940	8,871
その他の包括利益累計額合計	1,049	△915
純資産合計	9,989	7,955
負債純資産合計	33,439	28,024

第2四半期連結損益計算書

単位:百万円

科目	前期 (2015年2月1日～ 2015年7月31日)	当期 (2016年2月1日～ 2016年7月31日)
売上高	33,586	29,348
売上総利益	7,112	5,687
販売費及び一般管理費	7,647	5,890
営業損失(△)	△535	△202
営業外収益	100	105
営業外費用	36	29
経常損失(△)	△471	△126
特別利益	542	128
特別損失	145	6
税金等調整前四半期純損失(△)	△74	△4
法人税等合計	23	18
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△98	△22

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	前期 (2015年2月1日～ 2015年7月31日)	当期 (2016年2月1日～ 2016年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,187	294
投資活動によるキャッシュ・フロー	908	144
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,456	△191
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,185	200
現金及び現金同等物の期首残高	2,573	5,415
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△342
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,759	5,273

グループ会社別実績

【連結】2017年1月期第2四半期(累計)グループ会社別実績

単位:百万円

	売上高			営業利益		
	前年	実績	前年比	前年	実績	前年比
①クロスプラス(株)	30,224	28,051	△2,173	△84	△207	△122
②スタイリンク(株)	1,308	1,193	△115	12	0	△12
③上海服飾整理有限公司	258	162	△96	3	1	△1
④(株)ヴェント・インターナショナル*	1,887	—	△1,887	△494	—	+494
連結調整	△92	△59	+33	27	3	△24
連結	33,586	29,348	△4,238	△535	△202	+332

※(株)ヴェント・インターナショナルは、2016年1月31日をもって解散しております。

連結貸借対照表

総資産は280億24百万円となり、前期末(2016年1月31日)に比べ54億15百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の回収などによる流動資産の減少49億32百万円によります。

負債は200億68百万円となり、前期末に比べ33億82百万円の減少となりました。主な要因は、買掛金の支払などによる流動負債の減少29億98百万円によります。これらの流動資産及び流動負債の変動は、例年発生するもので上期と下期の売上高の違いから生じるものです。

純資産は79億55百万円となり、前期末に比べ20億33百万円の減少となりました。主な要因は、保有している為替予約の時価評価額の減少から繰延ヘッジ損益が17億59百万円減少したことによります。

連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期累計期間に営業活動により得られた資金は2億94百万円、投資活動により得られた資金は1億44百万円、財務活動により使用した資金は1億91百万円となりました。また、連結除外に伴う資金の減少額が3億42百万円となったことにより、現金及び現金同等物は前期末(2016年1月31日)に比べ1億41百万円減少し、52億73百万円となりました。

株主優待制度のご紹介

毎年1月31日（決算期）現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインショップのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制		
	当社グループ 選定商品の場合	クーポン券の 場合	
100株以上 500株未満	小売価格 3,000円相当	3,000円	
500株以上 1,000株未満	小売価格 5,000円相当	5,000円	
1,000株以上	小売価格 10,000円相当	10,000円	

特別優待

上記の他に、抽選で株主様に30万円相当の海外旅行（旅行券）を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

抽選の対象となる株主様

- ①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様
- ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有（期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載）の株主様

当選数

- ①の株主様の中から10名様
- ②の株主様の中から2名様
（ただし、①と重複当選の場合は無効といたします）

オンラインショップ

クロスプラス
オンライン
ショップ

<http://www.crossplus.jp/>

8ページで紹介のブランドも
「クロスプラスオンラインショップ」からご購入頂けます

ATSURO
TAYAMA

<http://www.at-atsurotayama.com/>

JUNKO
SHIMADA

<http://www.junkoshimada.jp/>

A/C DESIGN BY ALPHA CUBIC

エーシー デザイン バイ アルファキュービック

働く女性が様々なシーンで輝けるスタイリングを提案するキャリアブランド




Petit Honfleur

プチオンフルール

ファッションを楽しむ女性に向けた、プライベートからオンスタイルまで対応できるリアルクローズ



DECOY

デコイ

鴨をアイコンにした、ブリティッシュトラッドブランド伝統と格式の中にも女性らしさのあるスタイル



会社概要・株式の状況

会社概要 (2016年7月31日現在)

事業内容	婦人、女兒向けアウターウェア全般を企画製造し、量販店、専門店等への卸売及び百貨店等での小売
創業	1951年8月
設立	1953年4月
資本金	1,944百万円
代表者	代表取締役社長 山本 大寛
従業員数	728名(連結)、661名(単体)
事業所	本社：名古屋市中区栄3-9-13 東京支店：東京都中央区日本橋浜町3-3-2 物流センター：中部、CP流通
グループ会社	スタイリンク(株)：東京都 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司： 検品センター(上海、青島、烟台、南通)

株式の状況 (2016年7月31日現在)

会社が発行する株式の総数	31,600,000株
期末発行済株式総数	7,718,800株
期末株主総数	8,238名
期末単元株主数	7,890名

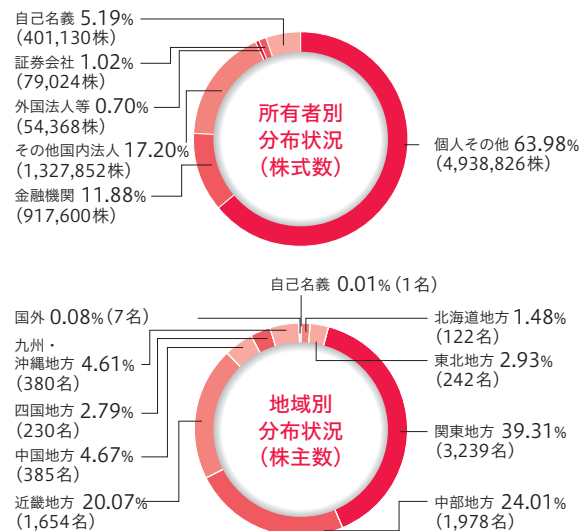
大株主

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
辻村 隆幸	593,650	7.69%
クロスプラス社員持株会	395,660	5.12%
田村駒株式会社	238,400	3.08%
森 文夫	222,430	2.88%
株式会社ヤギ	218,600	2.83%
株式会社三菱東京UFJ銀行	206,000	2.66%
有限会社シービーモア	191,250	2.47%
辻村 幸子	178,850	2.31%
CP共栄会	171,900	2.22%
株式会社みずほ銀行	167,300	2.16%

※当社は自己株式401,130株(持株比率5.19%)を保有しております。

役員の状況 (2016年7月31日現在)

代表取締役社長	山本 大寛
取締役会長	森 文夫
取締役副会長	辻村 隆幸
常務取締役	北出 哲男 虫鹿 宏
社外取締役	大爺 正博 小林 英三
常勤監査役	曾我 孝行
監査役	中野 正道
社外監査役	松島 博 川合 正
常務執行役員	鈴木 英司
執行役員	西垣 正孝 西尾 祐己 大口 浩和 丸尾 裕之 柳瀬 努



株主メモ

決算期	毎年1月31日
定時株主総会	毎年4月開催
基準日	・定時株主総会 1月31日 ・期末配当金 1月31日 ・中間配当金 7月31日

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部
名古屋証券取引所市場第二部

公告の方法 公告はホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によってホームページに掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
電子公告掲載URL <http://www.crossplus.co.jp/>

株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

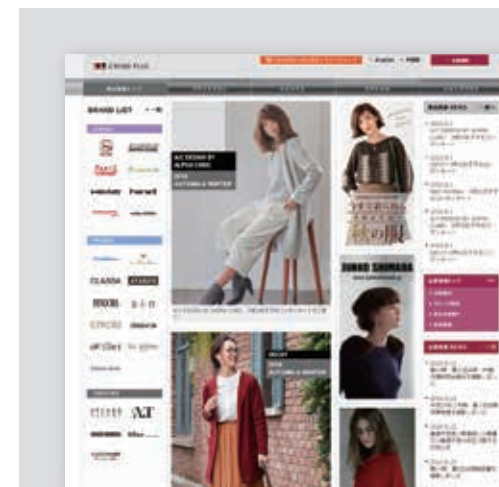
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 配当金計算書について
配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

HPのご紹介

当社グループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、当社をよりよくご理解いただくための情報をご覧いただけます。



<http://www.crossplus.co.jp/>





CROSS PLUS

クロスプラス株式会社

〒451-8560 名古屋市西区花の木3-9-13

TEL 052-532-2211(代)

<http://www.crossplus.co.jp/>